



河内小だより

〒671-1664

たつの市立河内小学校

たつの市揖保川町金剛山 604

TEL 0791-72-2129

FAX 0791-72-6213

HP <https://kochisyo.tatsuno.ed.jp>

ともに学び合い、心身ともに健康でやさしい河内っ子

冬来たりなば春遠からじ



早いもので、もう2月を迎えています。冬らしい厳しい寒さの日もあれば、春が来たのかと思うほどぽかぽかする日もあります。校舎のまわりにある木々の芽の膨らみを見ると、春を迎える用意をしていることを実感します。また、土の中では、目に見えなくとも確実に草花が根を伸ばして、水分や養分を吸収しています。きっと、芽を出すエネルギーをためて、きれいな花を咲かせる準備をしていることでしょう。「冬来たりなば春遠からじ」、確実に春は近づいています。

6年生は卒業に向けた取り組みを通して、この6年間を振り返るとともに、中学校という新しい環境への期待で胸を膨らませています。この姿からは、「成長」を感じ取ることができます。在校生にとっても、しっかりと1年間を振り返り、新しい学年への目標などを考える絶好の時期です。進級への期待を胸に、今までの反省をふまえ、「理想とする自分の姿」を思い描きながら、がんばってほしいと考えます。

ご家庭においても、次の3つのことにお力を入れていただき、安心した進学・進級のご準備をお願いいたします。1つ目は、「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化して、生活のリズムを作るということです。決められた生活の流れが身にいているからこそ、子どもは力を発揮し、心と体が健康で過ごせるのです。2つ目は、「元気なあいさつと返事ができる」ことです。あいさつと返事は、コミュニケーションの基本とも言われ、豊かな友だち関係を築くことにつながります。3つ目は、「人の話をしっかり聴く」ということです。「聴」という字は、「耳」+「目」+「心」から成り立っています。「聴き上手は、話し上手」、まずは、聴く姿勢を大切にしていきましょう。また、「子育ては親育て」とも言われます。各学年からの進学・進級に向けて、子育ての中から共に成長する気持ちで春に向かいましょう。

1/20(月) こうち多文化共生フェスティバル

韓国・インド・アメリカについて、講師の先生から文化や慣習などについて紹介してもらい、興味・関心を持つことができました。新しい発見は、子どもたちにとって大きな刺激となり、今後のコミュニティーの拡がりに大いに生かされる経験です。これからの新たな出会いを楽しみにしたいですね。



韓国



インド



アメリカ

3月の行事予定

- 3日(月) 委員会活動 <最終>
- 4日(火) ALT 学校児童会 定時退勤日
- 5日(水) PTA 委員会
- 6日(木) 6年生を送る会
- 7日(金) 揖保川中学校卒業式
- 10日(月) クラブ見学
- 11日(火) ALT 定時退勤日
- 14日(金) 安全の日
- 17日(月) 地区児童会
- 18日(火) ALT 給食終了 移動図書館 定時退勤日
- 20日(木) 春分の日
- 21日(金) 卒業証書授与式
- 24日(月) 修了式
- 25日(火) 春季休業日 ~ 4/7(月) 定時退勤日
- 26日(水) 会計監査(青少協・民推協)



毎月25日は笑顔の日
/ーゲーム /ースマホデー

1/17(金) 避難訓練(地震想定)

阪神・淡路大震災から30年の月日が流れました。「災いは、忘れた頃にやってくる」と言いますが、地震には周期があり、必ずやってきます。子どもたちは将来、住む場所や出掛け先で、いつ地震に遭遇するかも分かりません。自分たちの身を守るように、日々、心掛けたいですね。



1/31(金) 揖保川中学校 入学体験



2/7(金) 河内小学校 入学体験



4月のおもな行事予定

- 2日(水) PTA 会計監査・予算審議
- 8日(火) 始業式
- 9日(水) 入学式
PTA 委員会・三役と各部長の引継
- 14日(月) 給食開始
- 17日(木) 家庭訪問(馬場・金剛山・浦部)
- 18日(金) 家庭訪問(袋尻・大久保・市場)
- 25日(金) 授業参観日 学級懇談 PTA 総会



☆ 表彰 おめでとう ☆ 2025.2.10 現在

●揖龍詩文集「風の子」154号掲載
<詩の部>

<作文の部>

- 第3回レッドホープ斑鳩杯
- 令和6年30周年記念大会
- 姫路少年ソフトボール連盟

どうせいいそく 同声異俗

他責や期待をやめたら未来は変わる 「期待ではなく希望を持つ」

心の持ち方について、手放してよかったものが二つあります。一つは被害者意識。そして、もう一つは期待です。自分が考えている三割を相手がしてくれるだけでもすごいことなのに、八割、九割を期待してしまう。そうすると、どうしても相手の「できないところ」ばかりに目が行って、イライラしてしまうのです。でも考えてみれば、相手に対する期待は自分勝手なもの。それを押しつけられてはたまりませんよね。100%期待通りにやってくれる人なんているはずがありません。そのことに気づいて、相手には期待ではなく「希望」を持ってお願いすることに決めました。「~してくれるはずだ」ではなく「~してもらえたらうれしいな」と、気持ちを切り替えたんです。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」。よく言われることかもしれませんが、本当にそう思います。起きてしまったことを嘆いて、人のせいにしても何も変わらない。人は自分の期待通りに動いてくれるはずがない。それでも、つい被害者意識を抱いてしまったり、相手に期待してしまったりもします。そんなとき、逆に手放さないようにしているのが、「感謝」です。気持ちが喜怒哀楽の「怒」や「哀」に偏ってしまいそうなとき、感謝することによって気持ちのバランスを取り戻すことができる気がします。

アン ミカさんの言うように、自身にいつも「感謝する心」を持ち合わせていたなら、腹が立つことも少ないでしょうね。さらに、ポジティブな生き方をしていれば、きっと未来は明るく大きな幸せが待っていると思えるはずです。そう考えると、自分の中にワクワクが生まれてきそうで嬉しくなります。

【 PHP 2024年12月号 NO.919号 巻頭インタビュー「アン ミカ」(モデル、タレント) 引用 】